



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2023.2.6

残心

2月3日実施のPTA 専門部会・合同委員会、5日実施の資源回収・茶畑整備・学校環境整備において大勢の方がご参加くださりありがとうございました。お礼申し上げます。

全校朝会で次のようなお話をしましたのでご紹介します。

昨年の11月に、愛媛県のスポーツ界で大変すばらしいニュースがありました。この方なのですが、わかりますか。この方は、剣道で日本一になった村上哲彦選手です。愛媛県で初の快挙でした。実はこの人は、石川先生のお友達で、中学時代は同じ陸上部に入って一緒に練習した仲だそうです。（学校に剣道部はなかったのが陸上部だったという事です。）何事も道を極めて日本一になるというのはすばらしいことですね。その陰には大変な努力があったと思います。先日もテレビのインタビューで、日本一で安心することなく、これからも努力していきたいと話されていました。

さて、今日は、この剣道にかかわる言葉についてお話しします。

「残心」（ざんしん）という言葉です。（実演）技を行って「面」などの技を終えた瞬間に動きが終わるのではなく、しっかり構えなおすまで動作を行う。継続性を持たせる。それを残心と言うそうです。もし、残心が行わなければ一本が取り消されることもあるそうです。残心という言葉は、柔道や空手、弓道などの武道でよく使われますが、茶道や舞踊などの芸事でも大切にされている言葉だそうです。弓道ではこのようになります。（実演）

茶道では、例えばお客さんが部屋から出たとたん大声で話したり、片付けを始めたりしてはいけないなどと教えられるときに使われます。そのものも大事ですが、「その後まで気を配りなさい」あるいは「行為を振り返りなさい」という事だと思います。

少し解釈が違って来るかもしれませんが、「残心」は「心を残す」と書きます。例えばハサミを人に貸して、自分がいない時に、そのはさみが返ってきていたとして、こんな感じだと、どうでしょうか。こんな感じだとどうでしょうか。その人は、ここにはいませんが、その人の心はここに残っていると思いませんか。直接お礼を言って返すのがベストですが、手紙などが着いてあると、その人が今ここにいなくても、その人の感謝の気持ちが伝わってきますね。掃除でも同じですね。きれいに掃除されていたら、一生懸命掃除していた姿が想像できます。靴箱はどうでしょう。宿題や日記はどうでしょう。そこにその人がいなくても、その人の気持ちや姿は残っていることがあります。何事も、最後まで心を込めて丁寧なことにし、行為が終わった後に振り返ってみる事が大事だという事を教えてくれる言葉だと思います。今日は「残心」のお話をしました。

